

令和元年度「全国高等学校教育改革研究協議会」
～協議題C「世界で活躍できるトップレベル人材の育成」～
研究室 504 第5ターム 沖縄県教育委員会

沖縄県教育委員会では、下記1～4の事業を通して、世界で活躍できる人材育成に努めている。

1 英語立県沖縄推進戦略事業

英語立県沖縄推進戦略事業では「英語小中高大連携委員会」「国際交流推進委員会」の2委員会を立ちあげ、下記(1)～(5)の事業を継続的に実施し、児童・生徒の英語力向上に努めている。

(1)英語授業マイスター発掘プロジェクト（優秀英語教員の認定事業）

(2)英語能力判定テスト及びその結果を踏まえた教員対象のフィードバック説明会

＊「英語能力判定テスト」は英検協会が実施する「英検 IBA」テストで、受験者の英語力が客観的に測定できるテストのこと。

＊フィードバック研修会は、英語能力判定テスト結果を、大学の教授に分析を依頼し、その傾向と授業改善に向けた研修のこと。

(3)英語担当中高連携研修（英語教員への研修）

＊中学校、高校の英語教員各学校1名以上が参加し、小中高で公開授業を実施し、中高連携に向けたグループ討議等を実施している。

(4)教育講演会並びに小中高大連携シンポジウム

＊県外大学等より、教授等の英語教育の専門家を招へいし、本県小中高大の英語教育に従事する先生方へ向けた英語教育講演会を実施している。

(5)英語でお仕事プログラム

県内の外国語と深い関わりのある機関が提供する「県内外で英語を活用する国際的な仕事の紹介」を通して、英語で仕事をすることを幅広く理解し、興味を喚起する。また、生徒自らの進路設定に活かす機会としている。

2 沖縄科学技術向上事業

(1)沖縄科学グランプリの開催（1, 2年生対象）（10月実施）

①科学の甲子園大会県予選大会として実施

②学校単位で編成された1チーム8名で競う。

③物理、化学、生物、地学、数学、情報の6分野の筆記問題及び実技問題に取り組み、得点を競う。

④優勝校を全国大会（3月）へ派遣推薦

(2)先端研究機関等生徒派遣（1, 2年生対象）（8月、3月派遣）

①茨城県つくば市の先端研究施設等へ生徒を派遣

②最先端の研究施設で活躍する研究者・技術者から直接指導を受ける。

③知識と技能及び興味・関心を高める。

(3)合同宿泊学習会（1, 2年生対象）（2月実施：2日間）

①科学の甲子園及び沖縄科学グランプリ等に向けた力を付けるための宿泊学習会

②実験技術や問題解決能力、創造性を高める。

③講師：沖縄県立総合教育センター主事。

(4) 科学フォーラム（1，2，3年生対象）（2月実施）

大学教授や研究者等の外部講師による講演会等への引率旅費等の補助をおこなっている。科学への興味関心を高めるとともに、専門的な知識の深化、統合化を図り、自発的創造的な学習態度を育てる。

(5) 大学との連携

琉球大学がグローバルサイエンスキャンパス（JST 事業、高校生を対象とした科学教育プログラム）に平成 30 年度から採択されており、県教育委員会としても協力体制をとっている。

その成果のひとつとして、受講生のうち県立高校生 2 名が「アジア太平洋科学人材フォーラム」（主催：台湾政府教育部・台湾師範大学、会場：台湾 R1. 7. 6～11）に日本代表として参加し、2 名それぞれの所属チームが最優秀賞を受賞した。

3 SSH 支援事業

(1) 現状と研究計画

①沖縄県立球陽高等学校（平成 25 年～令和 4 年）

○テーマ「国際性豊かで主体的な探究心と論理的思考力・表現力を身に付けた人材の育成」

○主な取り組み

(7) 幅広い科学的素養を身に付けた人材を育成するプログラム開発

・理科 4 領域必修

・学校設定科目「SSH 探究 I・II・III」

(4) 探究活動等を通じた知的好奇心・探究心・表現力の育成・琉球大学と連携した科学系部活動

・サイエンス教室(地域の小中対象)

・研究者等による講演会

・校外研修活動

(4) 国際社会で主体的に行動できる英語によるコミュニケーション能力の育成

・英語を中心としたクロスカリキュラム

・OIST 研究者の講演・研究員と交流

・環境のための地球学習観測プログラム(GLOBE)への参加

・台湾研修

②沖縄県立向陽高等学校（平成 31 年～令和 5 年）

○テーマ「地域の自然で探究の基礎を身に付け主体性・協働性を基礎とした国際的科学人材育成」

4 SGH 支援事業

(1) 現状と研究の概要

沖縄県立那覇国際高等学校（平成 28 年度～令和 2 年度）

○テーマ「平成の大交易時代を構築せよ！」～沖縄からグローバル・リーダーを輩出～

○主な取り組みとして

- ①「島嶼県における持続可能で自立した成長モデルの構築」を目指し、沖縄の観光・健康・環境をサブテーマに課題研究を行う。
- ②海外派遣をとおして、モデル構築における諸課題を他国の生徒と共有、発表、討論等を行い、アジア太平洋地域における自立したビジネスモデル構築に寄与する提案が可能なグローバル・リーダーを育成する。
- ③海外派遣先 シンガポール、台湾、アメリカ（ボストン）